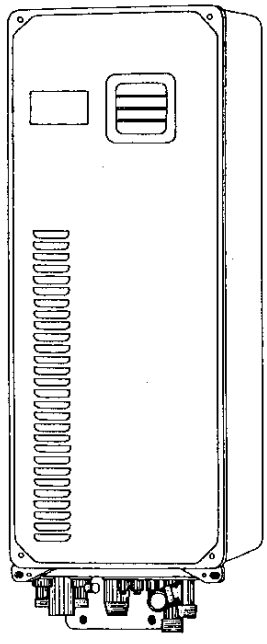
〈セントラル給湯機能付〉ガス風呂釜

わくわく16

31-231型/31-232型

型式名　OURB-161DA
OURB-161DA-CF



取扱説明書

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

大阪ガス

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスの〈セントラル給湯機能付〉ガス風呂釜をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保存してください。

もくじ

●特徴・機能のご紹介……1
●必ずお守りください……3
●各部のなまえと扱いかた……7
●初めてお使いいただくときに……11
●使用方法……15
●凍結予防のしかた……26
●点検・お手入れ……28
●故障かな?と思ったら……29
●寸法図……31
●仕様……32
●保管とアフターサービス……33

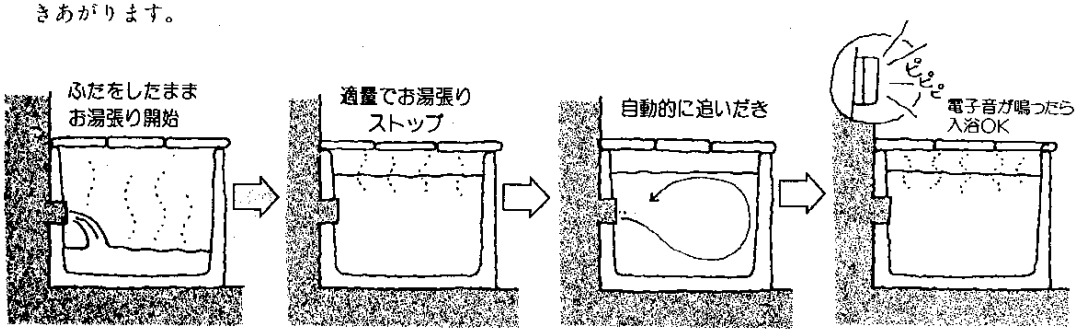
特徴・機能のご紹介

●給湯もおふろ沸かしもこれ1台でOKです。

給湯器とふろ釜を一体にした１台で２役の風呂釜です。

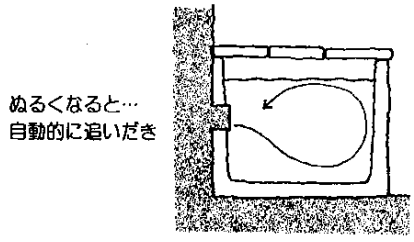
●スイッチひとつでおふろが沸かせます。

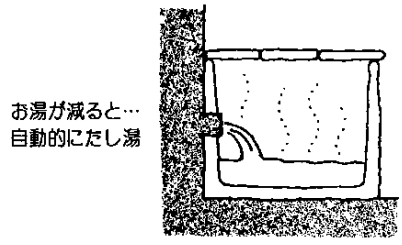
おふろ沸かしがとても簡単です。自動スイッチを押せば設定した水位、湯温で沸きあがります。



●4時間、湯温と湯量を監視します。

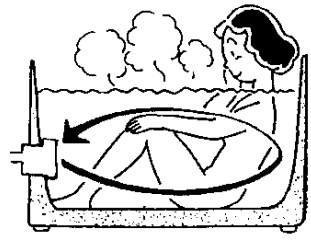
自動スイッチを押しておけば、沸きあがってから４時間のあいだ、お湯がぬるくなると自動で追いだきし、保温します。またお湯が減ると自動でたし湯します。
（19ページ参照）
たとえばお子様とご主人の入浴時刻があいても湯かげんを気にせず、すぐに入浴できます。



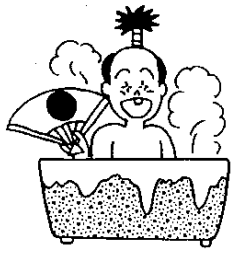


●上下の温度差がありません。

浴そうのお湯はポンプによって循環しているので、お湯をかきまわす必要はありません。



●最初はぬるめ、入っているうちに自動的に適温に沸かし上げます。



殿様スイッチでおふろに入る時は、お好みの温度よりやや低めで、おふろに入ると自動的にお好みの温度まで沸かし上げてくれます。(21ページ参照)
たとえば、冬場にからだが冷えていて熱いお湯に入りにくいときなどに便利です。

●タイマーで自動運転予約ができます。

お好きな時刻におふろが沸かせる予約運転ができます。(22ページ参照)

●マイコンが安定したお湯をコントロール。

電子式ガス比例制御方式を採用。マイコンが16号～２号相当までガス能力を制御します。使うお湯の量や水量が変っても安定した湯温が得られます。

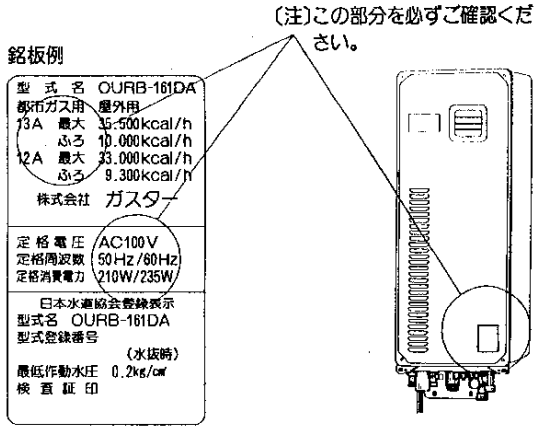
●シャワーと追いだきが同時に使用できます。

お湯やシャワーを使いながら、追いだきができます。

必ずお守りください

●ガスの種類を確かめてください

●機器に貼付してある銘板に表示されているガス(ガスグループ)以外のガスでは使わないでください。
●銘板に表示してある電源(電圧・周波数)以外の電源では使わないでください。



(例:都市ガス13A・12Aの場合)

●本器の用途について

●給湯およびふろ以外には使わないでください。
●本体はソーラー対応できません。

●補助用具について

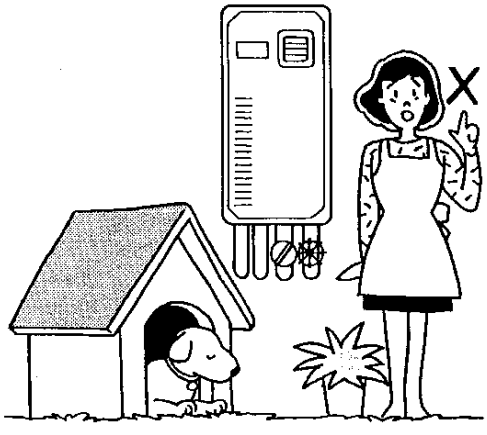
●この機器の付属品・純正部品以外は使わないでください。(不完全燃焼の原因となります。)
●水圧の低い地域では泡沫水栓を使わないでください。

●長期間使用しない場合

●長期間使用しない場合は必ずガス栓・給水栓をしめ、電源プラグをコンセントから抜いてさらに機器の水抜きを行ってください。
●水抜きの方法については、P.26「凍結予防のしかた」に従ってください。

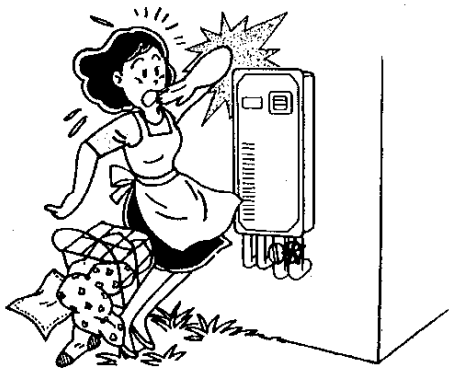
●使用場所について

●排気口から排気ガスが出ますので、近くに危険物、植木、ペット、その他加熱されて困るものは置かないでください。



●やけどのご注意

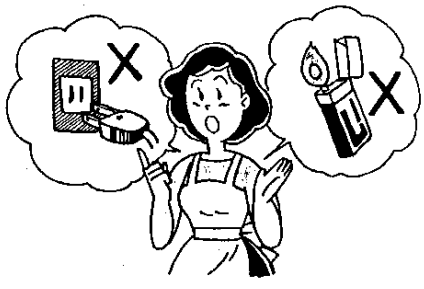
●使用中および消火直後は、排気口が高温になっていますので、絶対に手をふれないでください。



●ガス事故防止

●ガス漏れに気づいたときは、すぐに使用をやめてガス栓をしめ、お求めの販売店か最寄りの大阪ガス支社へご連絡ください。

●係員が処置するまでは、マッチやライター等を使ったり、電源プラグの抜き差しや電気器具の『入』『切』は絶対にしないでください。



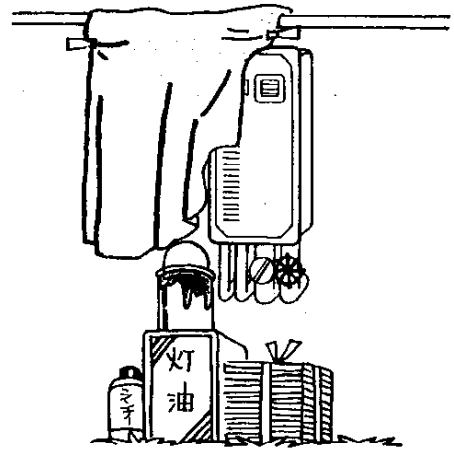
●日常の点検・お手入れ

●日常の点検・お手入れは、必ず行ってください。

●詳しくはP.28「点検・お手入れ」をご覧ください。

●火災予防について

●機器の上や、周囲には燃えやすいものを置かないでください。排気口は洗たく物やビニールなどでふさがないでください。



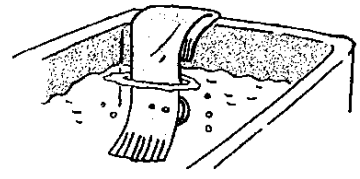
●停電のとき

●停電中はご使用になれません。再通電してから運転の操作をしてください。

●再通電したときは、コントローラの現時刻および浴そうの大きさと水量を機器のマイコンに記憶させてください。P.12、13、14に従って操作してください。

●自動運転・追いだきのときのご注意

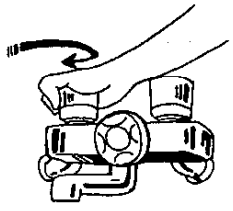
●浴そうの循環口をタオル等でふさがないでください。循環口をふさぎますと循環不良となり、追いだきができません。



●異常時の処置

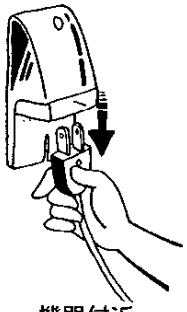
●万一、異常と思われるとき（使用中に異常音のするとき）は下図の処置をし、お求めの販売店か大阪ガス支社へ連絡してください。

1.給湯栓をしめる。



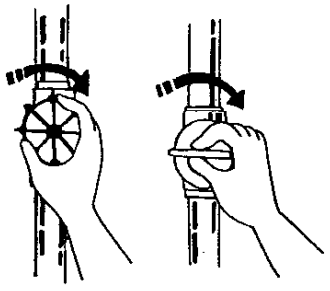
お湯の使用場所

2.電源プラグをコンセントからはずす。



機器付近

3.給水栓・ガス栓をしめる。



機器の下部

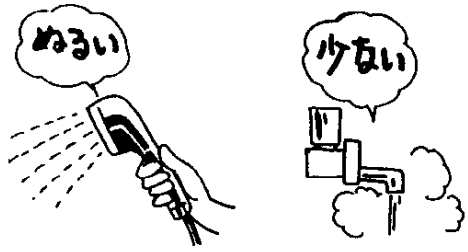
●給湯についてのご注意

●給湯栓をしぼりすぎるとお湯が極端にあつくなったり、出なくなったりします。そのようなときは給湯栓をもっとあけてください。

●複数の場所で同時にお湯を使いますと、お湯が少なくなったり、ぬるくなったりします。そんなときは1ヵ所だけでお湯を使うようにしてください。

●しばらく使用しなかったあと、あるいは出湯を止めてすぐ再出湯したときは湯温が安定するまで多少時間がかかります。

●シャワーをご使用の場合は手で湯温を確かめてからご使用ください。

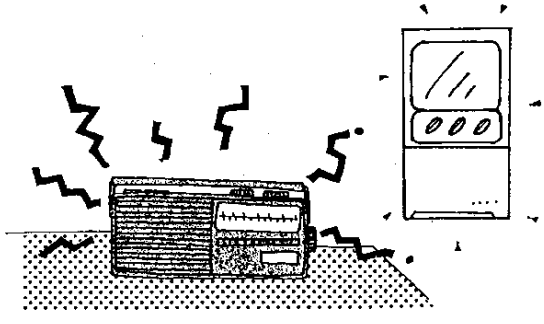


●コントローラ使用の際のご注意

●コントローラは子どもがいたずらしないようにご注意ください。
●コントローラには水をかけないようにしてください。コントローラは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。
●コントローラは絶対に分解しないでください。故障の原因になります。

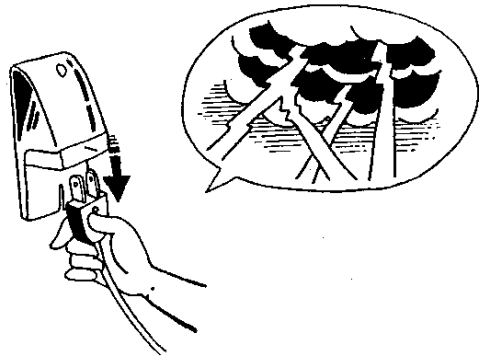
●コントローラの近くでラジオを使用するとき

●ラジオの音声が乱れる時があります。このような時には、コントローラおよびリモコン線から1m以上離してください。



●雷のとき

●激しい雷により、一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。電源プラグをコンセントから抜きますと損傷を防止できます。



●入浴剤について

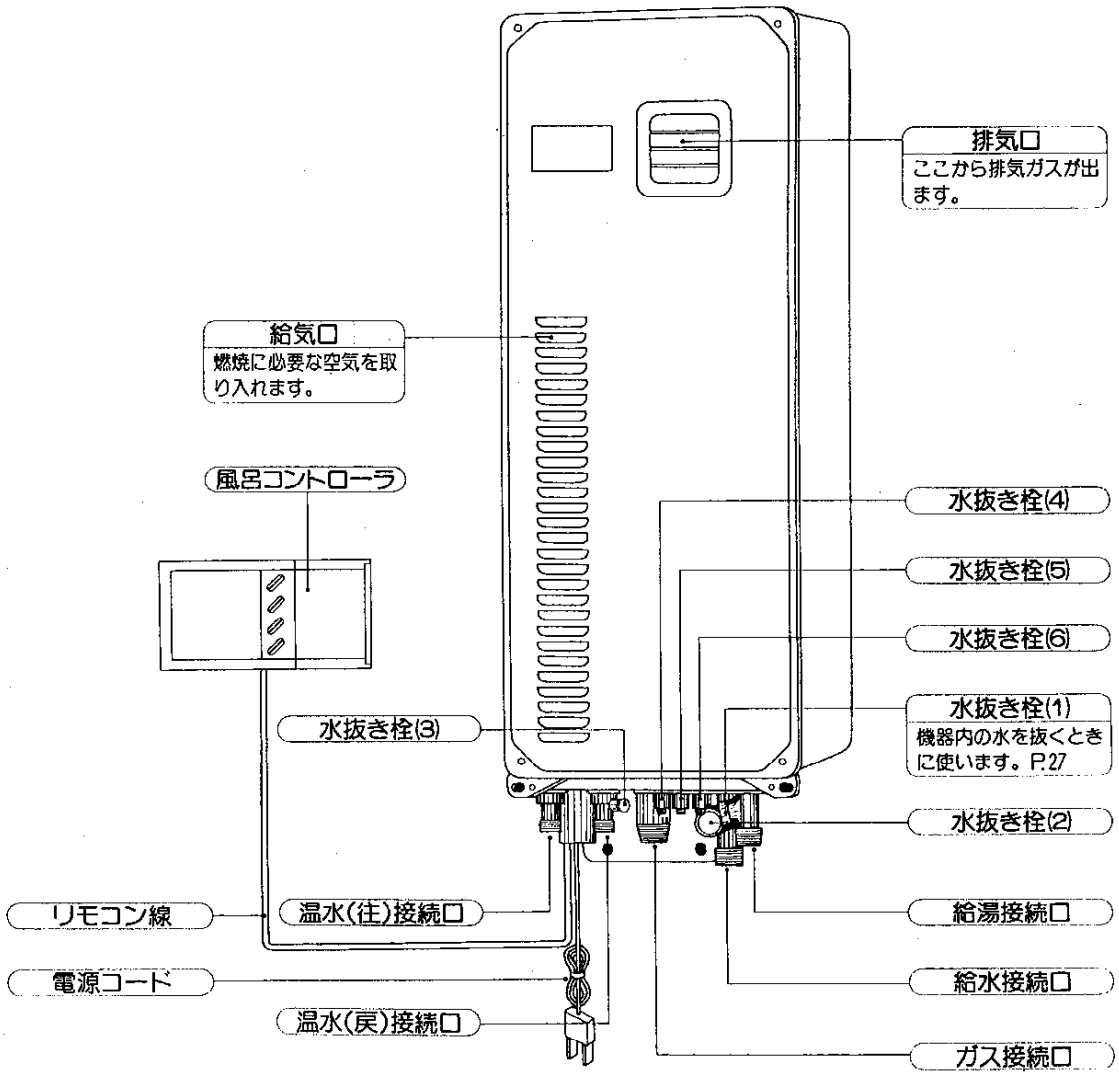
●硫黄、酸、アルカリを含んだ入浴剤や洗剤は、熱交換器の腐食の原因となりますので使わないでください。入浴剤によっては、おふろの追いだき時のポンプ吸引力に影響して追いだきができなくなることがあります。そんな時は自動スイッチを押して、P.17の自動運転を行ってください。

●飲用についてのご注意

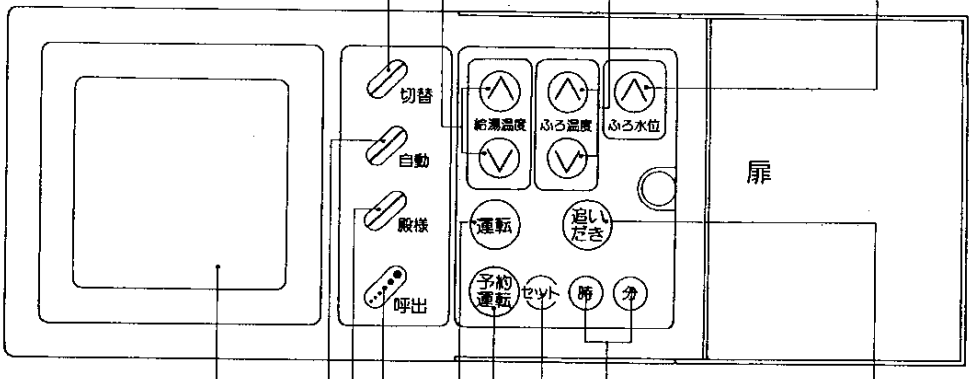
●しばらく使わなかったとき、はじめに出てくる水は飲まないようにしてください。

各部のなまえと扱いかた

機器本体 31-231型



風呂コントローラ



給湯温度スイッチ
給湯温度を設定します。(P.15)

ふろ水位スイッチ
浴そうの水位を設定します。(P.18)

切替スイッチ
メーンコントローラとの給湯温度設定切替スイッチです。(P.15)

ふろ温度スイッチ
おふろの沸き上がり温度を設定します。(P.18)

追いだきスイッチ
追いだきをするときに押します。(P.24)

表示画面
設定温度、ふろ温度、時刻、ふろ水位などをアジタル表示します。(P.10)

時刻設定スイッチ
現時刻および予約運転時刻を合わせます。(P.14)

自動スイッチ
自動運転でふろを沸かすときに押します。(P.19)

セットスイッチ
現時刻および予約運転時刻をセットするときに押します。(P.14、P.22)

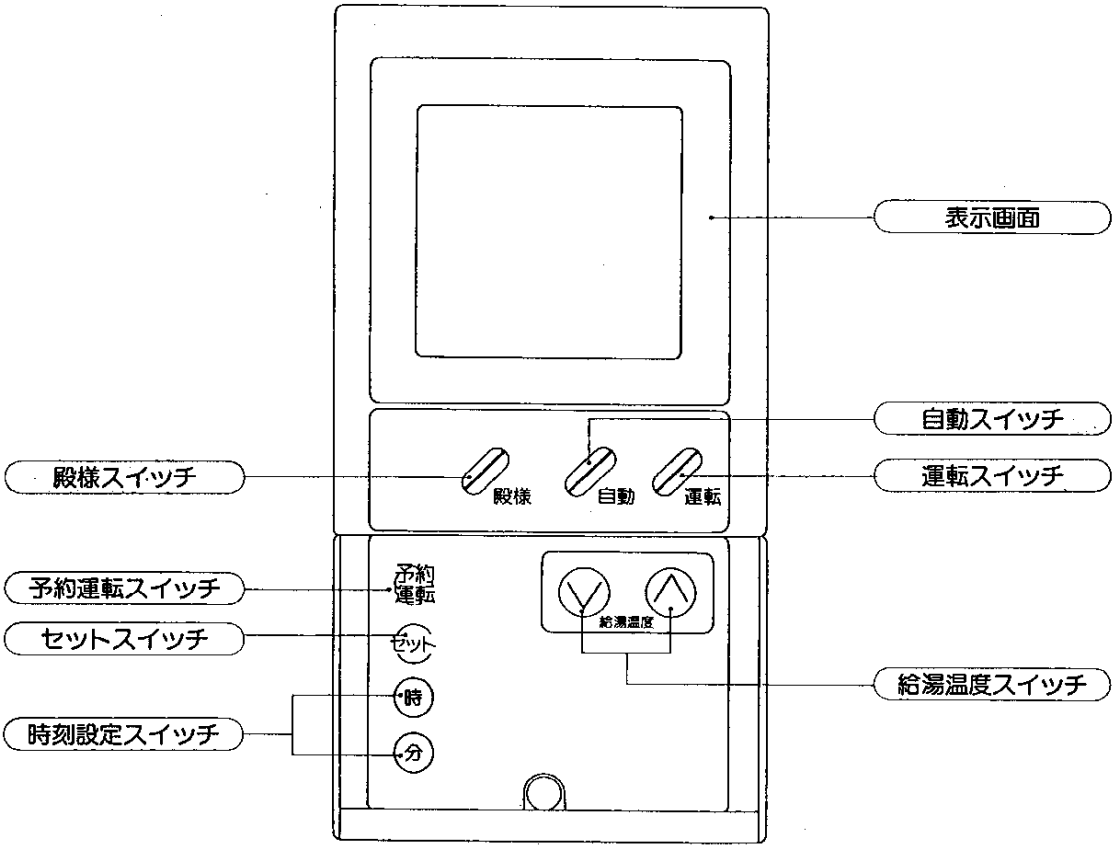
殿様スイッチ
最初はぬるめで入り、入浴中に設定温度まで湯温を沸き上げたい場合に押します。(P.21)

予約運転スイッチ
予約運転でおふろを沸かすときに押します。(P.22)

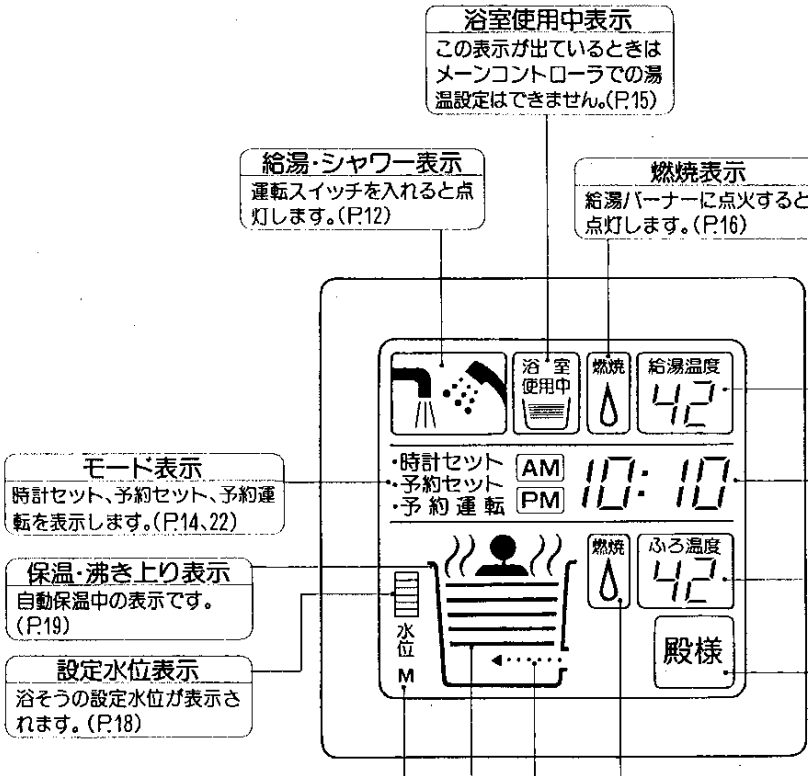
呼出スイッチ
用事などで人を呼ぶときに押します。(P.25)

運転スイッチ
電源の「入」「切」をするときに押します。通常は「入」の状態にしておきます。(P.12)

メーンコントローラ


表示画面
自動スイッチ
運転スイッチ
殿様スイッチ
予約運転スイッチ
セットスイッチ
時刻設定スイッチ
給湯温度スイッチ
殿様
自動
運転
予約運転
セット
時
分
給湯温度

表示画面



浴室使用中表示
この表示が出ているときはメーンコントローラでの湯温設定はできません。(P.15)

給湯・シャワー表示
運転スイッチを入れると点灯します。(P.12)

燃焼表示
給湯バーナーに点火すると点灯します。(P.16)

給湯温度表示
運転スイッチを入れると給湯温度が表示されます。(P.15)

モード表示
時計セット、予約セット、予約運転を表示します。(P.14、22)

時刻表示
現時刻および予約時刻を表示しします。(P.14、22)

保温・沸き上り表示
自動保温中の表示です。(P.19)

ふろ温度表示
おふろの沸き上がり温度を表示します。(P.18)

設定水位表示
浴そうの設定水位が表示されます。(P.18)

殿様表示
殿様スイッチを押すと表示されます。(P.21)

M表示
浴そうの大きさ、水位の設定がマイコンに記憶されていないときに点灯します。(P.12)

燃焼表示
ふろバーナーに点火すると点灯します。(P.19)

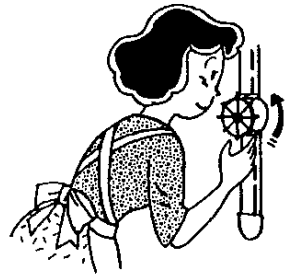
注湯表示
浴そうの循環口から注湯されているときの表示です。(P.19)

浴そう水位表示
浴そう内の水位を表示します。(追いだき運転中は一番上の線のみ表示されます。)(P.19)

初めてお使いいただくときに…

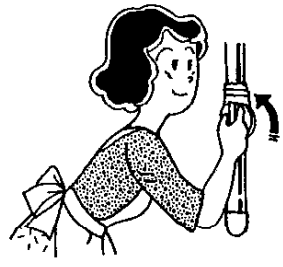
●操作前の準備と確認

1 給水元栓を全開にする



機器付近

2 ガス元栓を全開にする

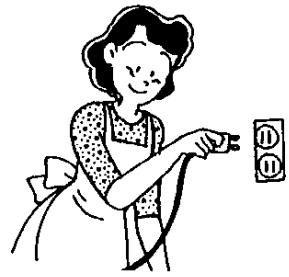


機器付近

3 給湯栓をあけ、水の出ることを
確認してからしめます。

お湯の使用場所

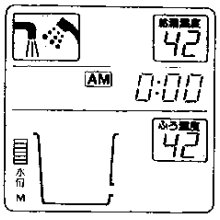
4 電源プラグを
コンセントに差し込む



洗面所

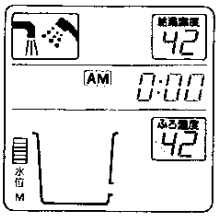
5「運転」スイッチを押します。

※表示画面は右のようになります。



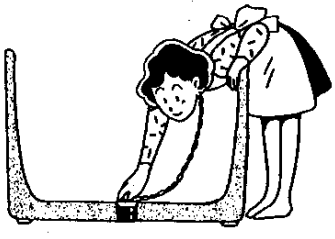
6 浴そうの大きさと水量をマイコンに記憶させます。

コントローラの表示画面に「M」表示が点灯しているときは以下の操作を行います。
(長時間の停電や長期間不在で電源を抜いたときも以下の操作を行います。)

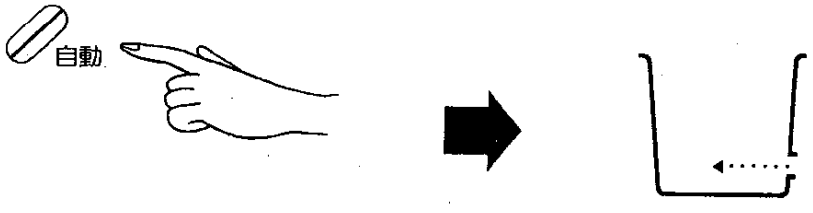


①浴そう内に水がないことを確認してください。
浴そう内に水がある場合は水を抜いてください。

②おふろの排水栓をしめます。



③「自動」スイッチを押します。
＊「注湯表示」が点灯し、自動運転がスタートします。
このとき、浴そうに水を入れたり、抜いたりしないでください。また、入浴はしないでください。



④「ピピピ…」という電子音が鳴ったら、記憶完了です。

＊「M」表示が消えます。

＊4時間のあいだ保温します。保温が不要なときは「自動」スイッチを押して「切」にしてください。

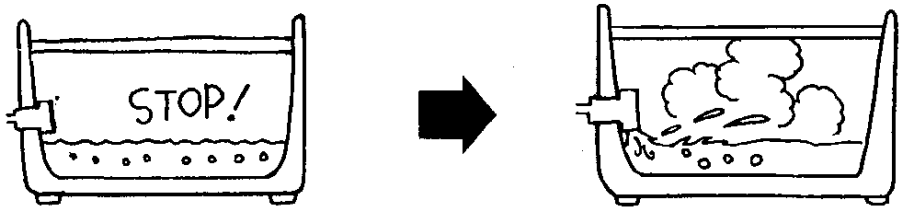
この状態で入浴できますが、浴そうの水位が高いことがあります。そのときはお湯を抜いてください。

ご注意

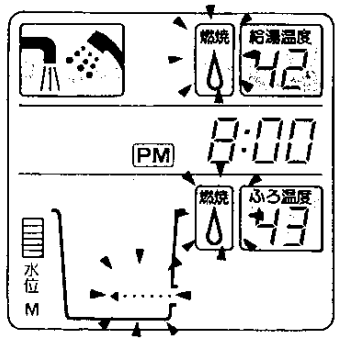
●「M」表示が点灯していても、給湯および追いだき操作はできますが、浴そうの大きさと水量を機器のマイコンに記憶させているあいだは使用しないでください。

●「M」表示が点灯しているときは、予約運転はできません。

●記憶中、注湯が約30秒間停止し、再び注湯を開始するということを数回繰り返しますが、故障ではありません。（マイコンが湯量を計りながら注湯するためです。）



●記憶中は給湯およびふろの燃焼表示、浴そう水位表示がついたり消えたりしますが、故障ではありません。



7 現在時刻を合わせます

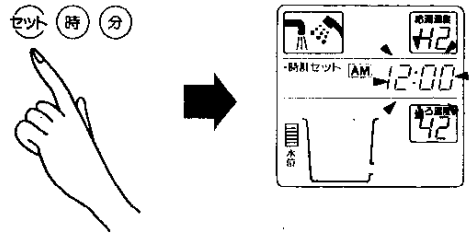
風呂コントローラまたはメーンコントローラで時刻合わせができます。

たとえば、午後2時35分に合わせるには…

①「セット」スイッチを押します。

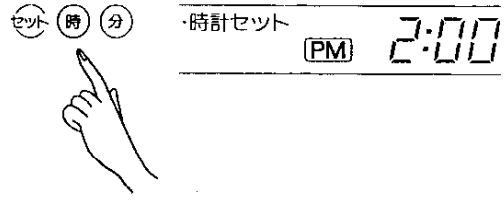
＊「時計セット」のモードが表示され

AM 12:00 が点滅します。



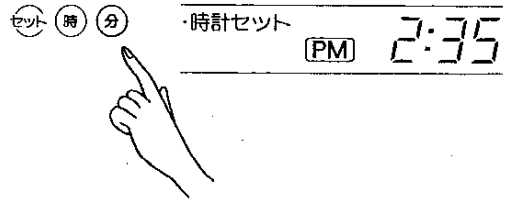
②時刻設定スイッチの「時」スイッチを

PM 2:00 になるまで押します。



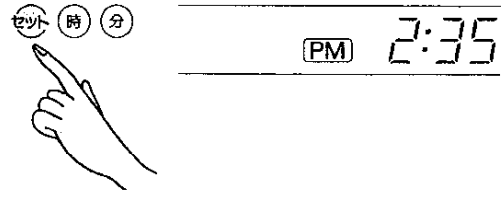
③時刻設定スイッチの「分」スイッチを

PM 2:35 になるまで押します。



④表示時刻を確認してもう一度「セット」スイッチを押します。

＊「時計セット」のモード表示が消え、時刻表示の点滅が止まります。現在時刻のセット完了です。



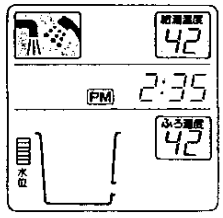
ご注意

- 「セット」スイッチを押して約5秒の間に次のスイッチを押さないとセットが途中であっても点滅が点灯に変わりセットが完了したことになります。
- セットしなおしたいときや、誤ってセットしたときは①からやりなおしてください。

使用方法

1「運転」スイッチが「入」状態になっているか確認します。

※表示画面は右のようになっています。
なっていないときは「運転」スイッチを押します。



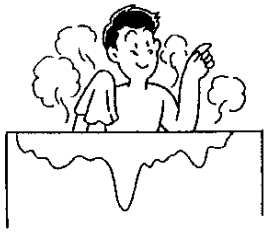
（現在時刻がPM2：35の場合）

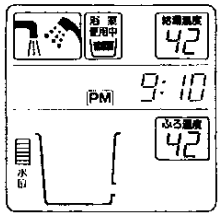
2「給湯温度」スイッチを押して温度調節します。

- はじめてお使いのときや電源プラグをコンセントから抜いてまた差し込んだ後、また停電後の給湯温度は42℃になります。
- 給湯温度がお好みに合わないときは温度調節します。
- 温度調節は、風呂コントローラ、メーンコントローラどちらでも操作できます。

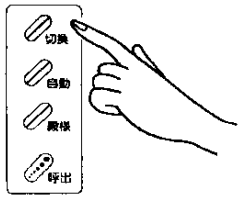
風呂コントローラで温度調節するときは

●コントローラを2個お使いの場合は風呂コントローラの表示画面に 浴室使用中 が表示されているか確認します。

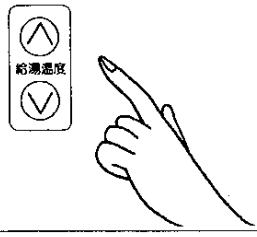




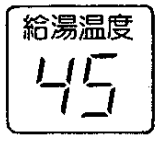
浴室使用中 が表示されていないときは「切替」スイッチを押します。
＊表示画面に 浴室使用中 が点灯します。



●Ⓐを押すと給湯温度が高くなり、Ⓥを押すと低くなります。
給湯温度は36℃、38～46℃、48℃、60℃に設定できます。



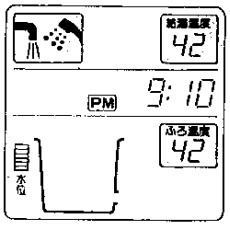
（給湯温度を見ながら）



2

メーンコントローラで温度調節するときは

●メーンコントローラの画面に 浴室使用中 が表示されていないことを確認します。



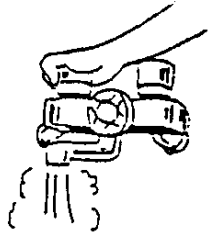
浴室使用中 が表示されているときは風呂コントローラの「切替」スイッチを押します。

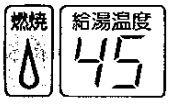
＊ 浴室使用中 が消えます。

●風呂コントローラと同じ操作をします。

3 給湯栓をあけます。

※「給湯燃焼表示」が画面に表示され、お湯が出ます。





ご注意

●シャワーをご使用の場合は手で湯温を確かめてからご使用ください。
●お湯側をしぼりすぎると運転が停止し、お湯が出なくなることがありますが、再び栓をあければ正常に運転し、お湯が出ます。
●給湯温度表示の数字は実際の給湯温度と多少異なりますので湯温設定の目安としてください。

4 給湯栓をしめます。

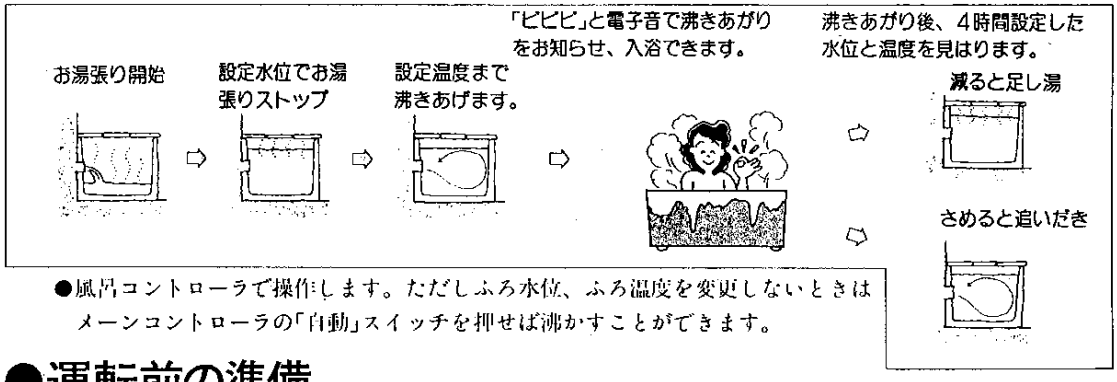
※「給湯燃焼表示」が消えます。
「運転」スイッチは通常「入」の状態にしておきます。次回使うとき給湯温度がそのままでよい場合は給湯栓のあけしめだけでお湯が使え、便利です。

おふろの沸かし方

●おふろを沸かすときは自動運転で行います。

●自動運転とは･･･

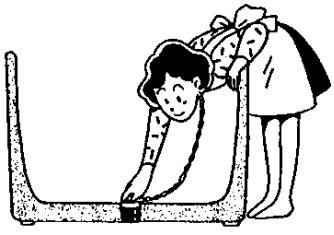
運転前の準備をしたら、「自動」スイッチを押すだけ。あとは次の動作を機器が自動で行ないます。



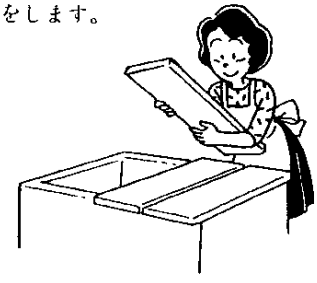
●風呂コントローラで操作します。ただしふろ水位、ふろ温度を変更しないときはメーンコントローラの「自動」スイッチを押せば沸かすことができます。

●運転前の準備

①おふろの排水栓をしめます。

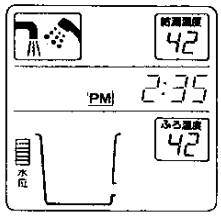


②ふたをします。



1「運転」スイッチが「入」の状態になっているか確認します。

※表示画面は右のようになっています。
なっていないときは「運転」スイッチを押します。



（現在時刻がPM2：35の場合）

ご注意

●コントローラの表示画面に「M」表示が点灯しているときはP.12･6･1の操作を行ってください。

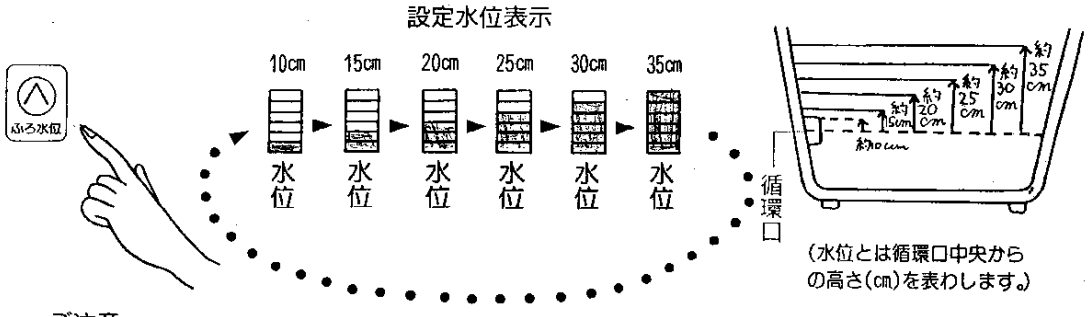
2「ふろ水位」スイッチを押して、水位を設定します。

●はじめてお使いのときや、電源プラグをコンセントから抜いてまた差し込んだ後、または停電後のふろ水位は下のようになります。

（4コマめ）

●浴そうの大きさを確認するため、最初に上記の設定で自動運転してみることをおすすめします。
●設定水位がお好みに合わないときは水位を設定しなおします。

●「ふろ水位」スイッチを押すと設定水位表示が1コマづつ下図のように変わります。



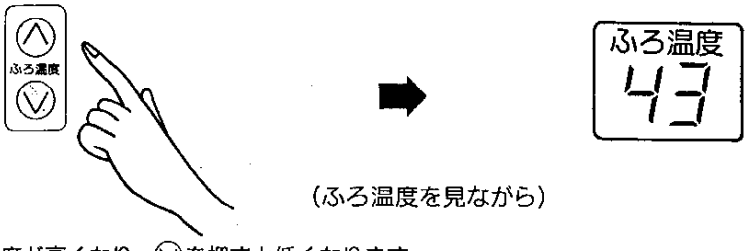
（水位とは循環口中央からの高さ(cm)を表わします。）

ご注意

●水位(cm)はおよその目安です。実際の水位と異なる場合があります。

3「ふろ温度」スイッチを押して、沸きあがりの温度を設定します。

●はじめてお使いのときや、電源プラグをコンセントから抜いてまた差し込んだ後、または停電後のふろ温度は42℃になります。
●ふろ温度がお好みに合わないときは設定しなおします。

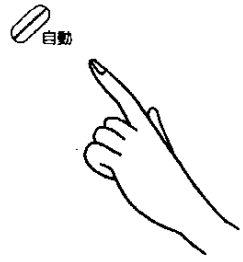


（ふろ温度を見ながら）

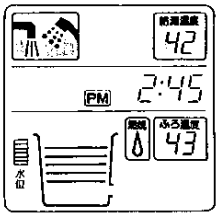
△を押すと温度が高くなり、▽を押すと低くなります。
ふろ温度は36℃～48℃に設定できます。

4「自動」スイッチを押します。

※表示画面に「注湯表示」が出て、しばらくして循環口からお湯がでてきます。このとき「給湯燃焼表示」が表示画面にでます。

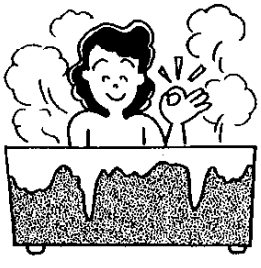


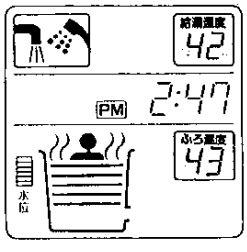
※設定した水位までお湯はり後、表示画面の「給湯燃焼表示」が消えます。かわって「ふろ燃焼表示」が表示され、設定したふろ温度まで沸かしあげます。

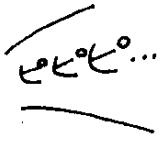


（時間表示は運転にかかる時間ではありません。）

※沸きあがると、風呂コントローラ、メーンコントローラが「ピピピ…」と鳴り入浴できることをお知らせします。「ふろ燃焼表示」が消えます。







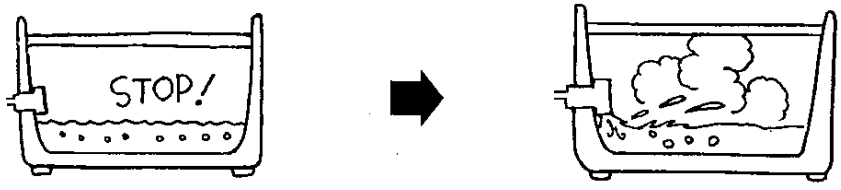
※沸きあがり後は約30分ごとに湯温を検知し、4時間のあいだお湯がさめていれば自動で設定した温度まで沸かします。お湯が減っていれば自動で設定した水位までたし湯します。

※自動運転を途中でやめたいとき、保温、たし湯をやめたいときは、「自動」スイッチを押します。

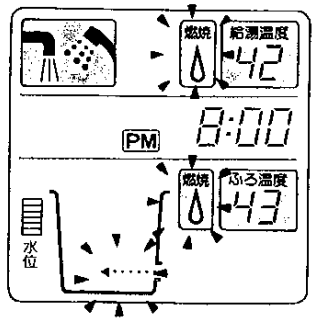
おふろの沸かし方

ご注意

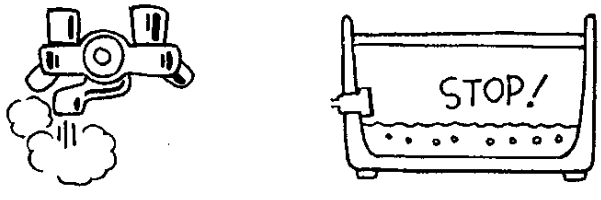
●自動運転中、注湯が約30秒間停止し、再び注湯を開始するということを数回繰り返しますが、故障ではありません。（マイコンが湯量を計りながら注湯するためです。）



●自動運転中は給湯およびふろの燃焼表示、浴そう水位表示がついたり消えたりしますが、故障ではありません。

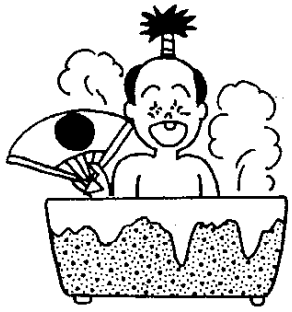


●自動運転中に台所などの給湯栓をあけると、浴そうへのお湯の出が悪くなったり、止まったりすることがあります。



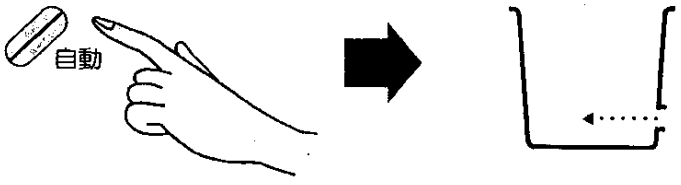
●ふろ温度表示の数字は実際の沸きあがり温度と多少異なる場合があります。目安としてください。

●最初入浴するときはややぬるめで、入浴中に設定温度まで沸き上がるようにしたい。

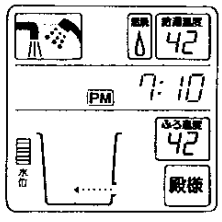


①自動運転の１～４の操作をします。
（P.17「おふろの自動運転」）

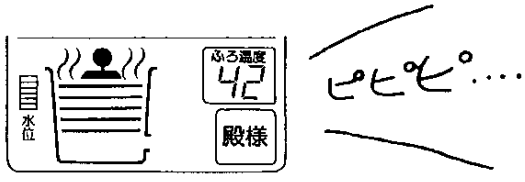
②「自動」スイッチを押します。
＊「注湯表示」が点灯し、自動運転がスタートします。



③「殿様」スイッチを押します。
＊「殿様表示」が点灯します。



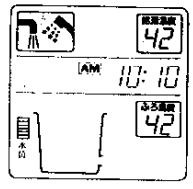
④「ピピピ……」という電子音が鳴ったら入浴できます。
（このときのふろ温度は設定したふろ温度の約−1.5℃です。）

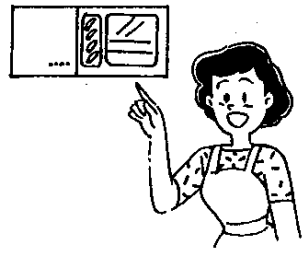


⑤入浴すると、センサーが感知して自動的に設定したふろ温度まで沸きあげます。

ご注意
- ●「殿様」スイッチは自動運転のときのみ作動します。
- ●保温中に上記の操作をすると湯量が若干増えます。
- ●入浴中に「殿様」スイッチを押すと、湯量が若干増えます。
- ●浴そうが満水に近いときは殿様運転ができないときがあります。

●予約運転をしたいとき





1 予約運転前の準備

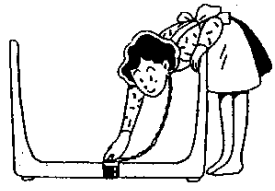
●「運転」スイッチが「入」の状態になっているか確認します。

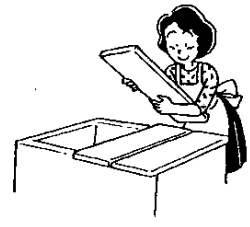
＊表示画面は右のようになっています。なっていないときは「運転」スイッチを押します。

●おふろの排水栓とふたをしていることを確認します。

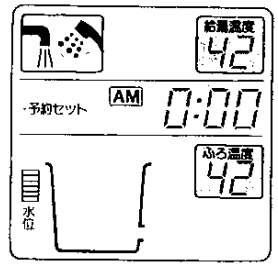
●ふろ水位とふろ温度がお好みになっているか表示画面を確認します。

＊なっていないときはP.18「おふろの沸かし方」2～3の操作をします。





2 たとえば、今晩8時30分に入浴したい場合は……



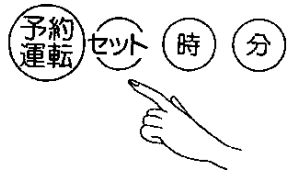
①現在時刻を確認します。

＊正しくセットされていない場合はP.14の7をご覧ください。

②「セット」スイッチを2回つづけて押します。

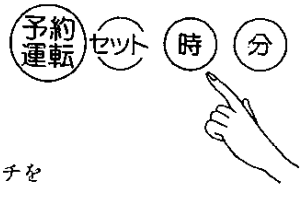
＊「予約セット」のモード表示が表示され

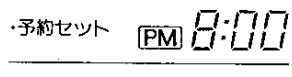
AM 0:00 が点滅します。



③時刻設定スイッチの「時」スイッチを

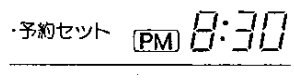
PM 8:00 になるまで押します。



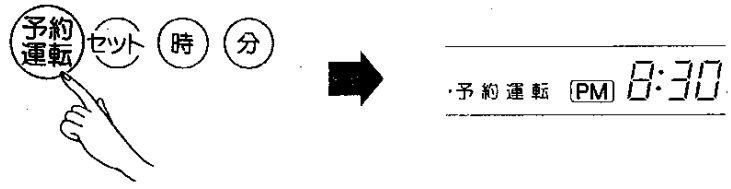


④時刻設定スイッチの「分」スイッチを

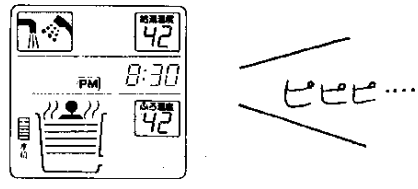
PM 8:30 になるまで押します。



⑤表示時刻を確認して「予約運転」スイッチを押します。
＊「予約セット」のモードが消え「予約運転」のモードが点灯します。



⑥8時30分までに自動的におふろを沸かしあげます。
＊8時30分になると「ピピピ……」という電子音が鳴り、入浴できることをお知らせします。

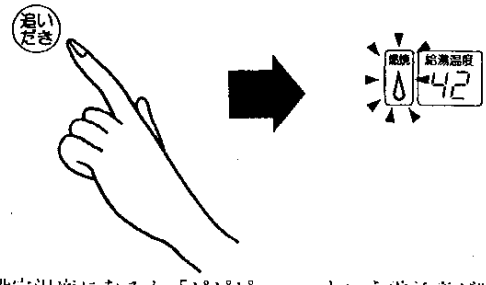


＊沸きあがり後は約30分ごとに湯温を検知し、4時間のあいだお湯がさめていれば自動で設定した温度まで沸かします。お湯が減っていれば自動で設定した水位までたし湯します。
＊途中でやめたいときは「自動」スイッチを押します。

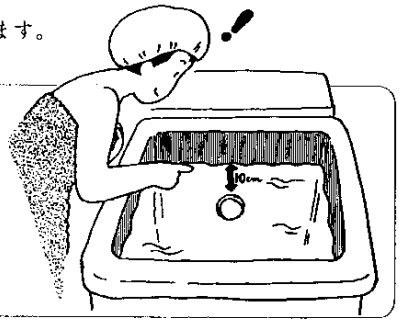
ご注意
- 「セット」スイッチを押して約5秒の間に次のスイッチを押さないと、セットが途中であっても点滅が点灯に変わりセットが完了したことになります。
- セットしなおしたいときや誤ってセットしたときは①からやりなおしてください。
- 予約運転セット後は現在時刻の表示になります。予約セットの時間を見たいときは「予約運転」スイッチを2回つづけて押してください。
- 「M」表示が点灯しているときは予約運転はできません。
- 毎日同じ時刻に入浴する場合は、セットしなおす必要はありません。
- 予約運転は24時間以内です。ただし、沸きあがり時刻のセットは現在時刻より1時間以後の時刻でセットしてください。
- 長時間の停電があった場合は、現在時刻と予約運転をセットしなおしてください。

●湯量は増やさずに、おふろを熱くしたいとき

①お望みの湯温を設定します。
（P.18「ふろ温度調節」をご覧ください。）
②「追いだき」スイッチを押します。
＊「ふろ燃焼表示」が点灯します。



③設定温度になると「ピピピ……」という電子音が鳴り、入浴できます。



ご注意

- 浴そうの水位が循環口より上にあることを確認してください。
- 「追いだき」スイッチを押すとマイコンが湯温を計り、約30秒後に燃焼を開始します。
- 循環口についている循環キャップのフィルターは約1ヵ月に1度そうじを行ってください。そうじ方法はP.28「循環口のお手入れ」をご覧ください。

●浴そうのお湯が少なくなってしまったとき

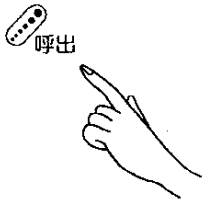
①「自動」スイッチを押します。
②設定した水位、沸きあがりの温度になると「ピピピ……」という電子音が鳴って、お知らせします。

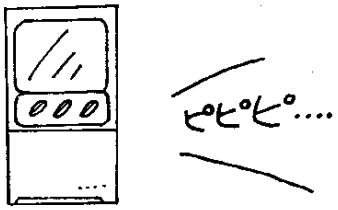
●残り湯を沸かし直したいとき

①「自動」スイッチを押します。
②設定した水位、沸きあがり温度に沸かしあげます。
＊「ピピピ……」という電子音が鳴ったら、入浴できます。

●用事などで人を呼びたいとき

①風呂コントローラの「呼出」スイッチを押します。
＊メーンコントローラと風呂コントローラから「ピピピ……」という電子音が鳴ります。

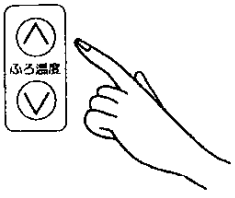


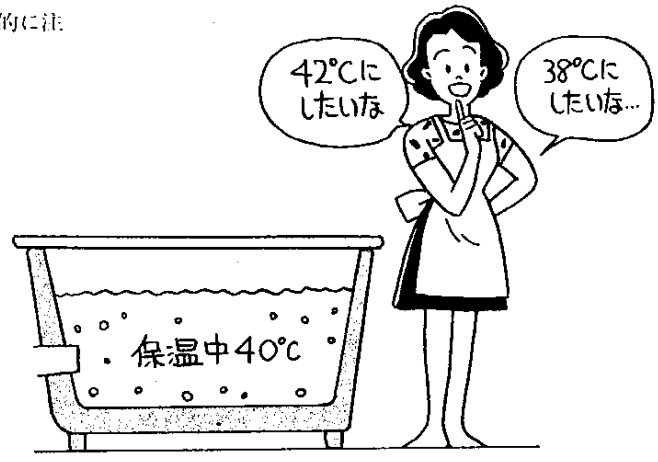


②もう一度「呼出」スイッチを押すと、電子音が消えます。

●保温中に浴そうの湯温を変えたいとき

「ふろ温度」スイッチでお好みのふろ温度に設定してください。
＊ふろ温度を上げると、設定温度まで自動的に沸き上げます。
＊ふろ温度を下げると、設定温度まで自動的に注水します。





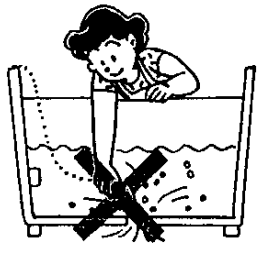
凍結予防のしかた

冬期、寒冷地だけでなく暖かい地方でも、急な寒波による凍結のため機器や配管が破損することがあります。破損した場合、高額の修理費用がかかる場合があります(有料)。設置場所の温度が氷点下になり凍結のおそれのある時は、次の方法で予防処置を行ってください。

●凍結予防ヒーターによる方法

この機器には、気温がさがってくると自動的に機器内を保温する凍結予防ヒーターと循環ポンプの自動運転装置が組み込まれています。

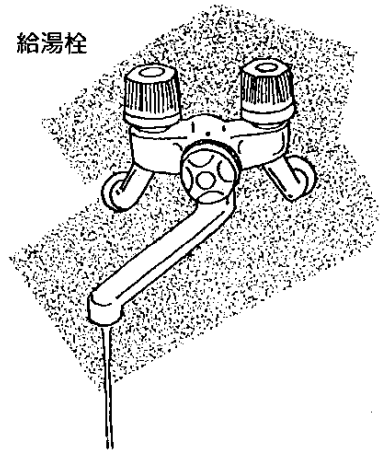
- 「運転スイッチ」の「入」「切」には関係なく作動します。
- 電源プラグを抜くと作動しません。電源プラグは絶対に抜かないでください。
- 凍結のおそれのある日は、浴そうの水を抜かないでください。



●停電のときの凍結予防は

給湯栓から水を流して予防します。

1. ガス栓をしめます。
2. 浴室の給湯栓をあけ、少量（1分間に牛乳びんで2本(400cc)以上ただし特に寒い日は多め）の水を浴そうに流し込んでください。
3. 流量が不安定なことがありますので、約30分後にもう一度流量を確認してください。



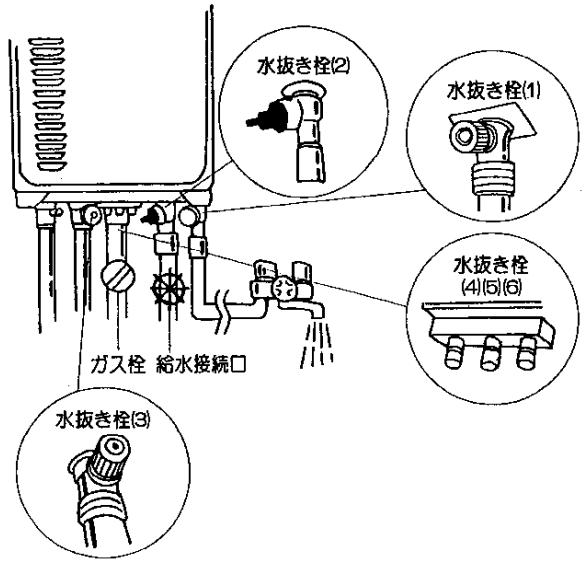
●長期間家をあけるため、やむなく電源を切るときの凍結予防は･･･

●機器内の水抜きをしてから行います。次の順序で必ず行ってください。

1.給湯側の水抜きを行います。
①ガス栓をしっかりしめます。
②給水栓をしっかりしめます。
③すべての給湯栓を全開にします。
④水抜き栓(2)をゆるめてはずします。
⑤水抜き栓(1)をゆるめてはずします。
（２～３回転）

※排水量は約700ccですので、これに見合った容器を用意してください。

2.おふろ側の水抜きを行います。
①浴そうの排水栓を抜いて浴そうを空にします。
②「運転スイッチ」を押して「切」にします。
③電源プラグをコンセントから抜きます。
・(ブレーカーを切ります。)
④水抜き栓(3)(4)(5)(6)をゆるめて排水します。



3.水抜き後再び使用するときは、次の順序で行ってください。
①水抜き栓(1)(2)(3)(4)(5)(6)を元通りにしめます。
②給湯栓を全開にし、給湯栓から水の出ることを確認してから給湯栓をしめます。
③電源プラグをコンセントに差し込みます。(ブレーカーを入れます。)
④ガス栓を全開にします。
⑤P.15以下の「使用方法」にしたがって、給湯、ふろの自動運転・追いだきを行ってください。

ご注意
①上記の方法では、給湯配管、追いだき配管やバルブ類の凍結予防はできません。
凍結予防のため、配管には必ず保温材を巻いてください。
②冷え込みの厳しい地域では、「水道凍結防止器」等を配管およびバルブ類に巻いて十分な保温をしてください。
③万一凍結した場合は、水漏れがないことを確認してからご使用ください。
④凍結して水が出ない状態で使用しますと、危険な場合があります。
⑤上記の手続きをしないで、機器が破損した場合の修理は有料です。

点検・お手入れ

●日常の点検

●機器や配管から、水もれ、ガスの臭気はありませんか。
●運転中に機器から異常音が聞こえませんか。
●機器のまわりに燃えやすいものはありませんか。
●給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、時々内部のフィルター(金網)を掃除してください。
●循環口に循環キャップとフィルターがついていることを確認してください。

●定期点検のおすすめ

安心してより長くご使用いただくために、年一度の安全点検をおすすめします。
お求めの販売店か、最寄りの大阪ガス支社へご連絡ください。

●日常のお手入れ

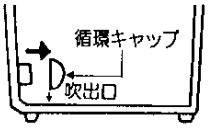
●機器やコントローラの汚れは、やわらかい布を水にぬらしてかたく絞り、軽くふきとってください。ベンジン、シンナーなど使わないでください。

ご注意

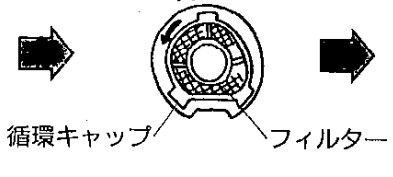
●お手入れの前には、必ず給水栓とガス栓をしめ、機器が冷えてから行ってください。
●機器は絶対に分解しないでください。

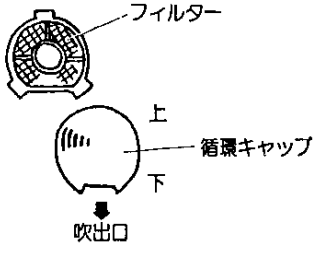
●循環口のお手入れ

循環キャップを浴そうから取り外します。



循環キャップ内側についているフィルターを矢印方向に回して外します。





●そうじしたあとは元通りに取り付けます。
●循環キャップ吹出口は必ず下に向けてください。吹出口が下に向いていないと機器が正常に作動しません。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思われたらただちに使用を中止し、一度つぎのことをお調べください。

お調べいただくこと（原因） / こんなとき（現象）	ガス栓の開き不十分	（LPガスの場合）ガスが残り少ない、または無い	ガス配管内に空気が残っている	ガス圧が適切でない	給水栓の開き不十分	水圧が適切でない	断水ではありませんか	水フィルターのつまり	給湯栓の絞り不十分	給湯栓の開き不十分	凍結している	給排気口のつまり	電源プラグが抜けている（ブレーカーが入っていない）	運転スイッチを押しましたか（コントローラ有りのとき）	停電している	安全装置の作動	使用ガスと銘板が不一致	使用電源と銘板が不一致	（コントローラ有りのとき）コントローラの設定温度表示が低くなっていませんか	（コントローラ有りのとき）コントローラの設定温度表示が高くなっていませんか
点火しない（給湯栓をあけてもお湯がでない）	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		
使用中に消火する	○	○		○	○	○		○		○						○	○	○		
異常な音をたてて燃える				○													○	○		
高温の湯が出ない	○	○		○					○										○	
低温の湯が出ない（コントローラ有りのとき）					○															○
湯量の調整ができない					○	○		○												
運転スイッチを押しても設定温度表示ランプが点灯しない（コントローラ有りのとき）													○							
処理方法	ガス栓を全開にする	（ポンベを新しく替える）販売店に連絡する	点火操作を繰り返す	※	給水栓を全開にする	※	断水が終わるまで待つ	※	給湯栓を絞る	給湯栓を開く	解凍まで使用を中止	※	し込む。（ブレーカーを入れる）電源プラグをコンセントに差	運転スイッチを押す	通電するまで待つ	※	※	※	高くするコントローラの設定温度を	低くするコントローラの設定温度を
参照ページ	5	—	—	—	5	—	—	—	5	5	27	—	11	12	4	—	3	3	15	15

●このほかに異常があるときや、おわかりにならないときは、お買い求めの販売店、またはお近くの大阪ガス支社へご連絡ください。
●修理は絶対にお客さまご自身でなさらないでください。不完全な処置は事故のもとになります。

●こんな場合は異常ではありません。

状況	点検事項
給湯栓を開いてもすぐお湯が出ない。	機器から給湯栓までは、距離がありますので、お湯が出てくるまでに、少し時間がかかります。
給湯栓をしめても、しばらく音がしている。	再使用時の点火をより早くするため、運転停止後約5分間は燃焼ファンを回転させています。
寒い日に排気口から白い湯気がでる。	温度差による水蒸気が発生するためで異常ではありません。
高温出湯すると、お湯が白くなる。	水には空気が含まれていて加熱すると気泡となってあらわれるためで異常ではありません。
冬期など寒い日に追いだきのポンプが自動的に動く。	凍結破損予防のため、ポンプの自動運転を行います。 （P.26凍結破損予防）
自動運転中に浴そうの循環口からの注湯が途中で約30秒停止する。	マイコンが湯温を計算しているためで異常ではありません。
予約運転ができない。	コントローラ表示部に「M」表示が点灯していませんか。点灯しているときはP.12 [6]の操作を行ってください。

●エラー表示

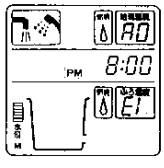
●コントローラにはエラー表示機能(故障診断機能)があります。

●コントローラの設定温度表示部にエラー表示と番号56が1秒ごとに交互に表示されます。
(A0～AAは給湯温度表示部、E1～EA、F0～FAはふろ温度表示部に表示されます。)

●修理を依頼されるときは表示番号をお知らせください。

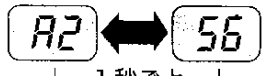
表示	故障個所	対処
A0	運転モード切替スイッチ位置の不具合	コントローラの運転スイッチを一度切り、再度入れた後、操作してください。再度エラー表示する場合は、修理依頼してください。
A1	給水温度センサー系の不具合	
A2	給水温度センサー系の不具合	
A4	給湯炎検出系統の不具合	
A5	ファン回転系統の不具合	
A6	給湯炎(燃焼)検出系統の不具合	ガス栓が全開になっていますか。なっていないときは、ガス栓をひらき、コントローラの運転スイッチを一度切り、もう一度入れて給湯栓をあけてください。エラー表示がでなければ大丈夫です。
A7	給湯流水感知装置系統の不具合	給湯を使用していないときにこの表示が出たら修理依頼をしてください。給湯使用中のときは、コントローラの運転スイッチを一度切り、もう一度入れるか、給湯栓をしめ、再度いっぱいに開いてお使いください。
A8	給湯過熱防止装置の作動または不具合	コントローラの運転スイッチを一度切り、再度入れた後、操作してください。再度エラー表示する場合は、修理依頼してください。
AA	給湯炎の立消え炎検出系統の不具合	ガスメーターの安全装置(マイコンメーター)が作動していませんか。もし、そうでない場合は、修理依頼してください。
E1	ふろ温度センサー系統の不具合	コントローラの運転スイッチを一度切り、再度入れた後、操作してください。再度エラー表示する場合は、修理依頼してください。
E4	ふろ炎検出系統の不具合	
E6	ふろ炎(燃焼)検出系統の不具合	ガス栓が全開になっていますか。なっていないときは、ガス栓をひらき、コントローラの運転スイッチを一度切り、もう一度入れてから追いたきスイッチを入れて運転してください。エラー表示がでなければ大丈夫です。
E7	ふろ流水感知装置・循環ポンプ系統の不具合	浴そう内に水が入っていますか、入っていないときは、浴そうに水を入れて、コントローラの「運転」スイッチを一度切り、もう一度入れてから追いたき操作をしてください。
E8	ふろ過熱防止装置の作動または不具合	コントローラの運転スイッチを一度切り、再度入れた後、操作してください。再度エラー表示する場合は、修理依頼してください。
EA	ふろ炎の立消え炎検出系統の不具合	ガスメーターの安全装置(マイコンメーター)が作動していませんか。もし、そうでない場合は、修理依頼してください。
F0	追いだき配管の凍結またはつぶれなどによる不具合	追いだき配管内が凍結している可能性があります。配管内があたたかくなるまで待ち、コントローラの運転スイッチを一度切り、もう一度入れて、自動スイッチを押してください。エラー表示がでなければ大丈夫です。
F1	浴そう圧力検出装置の不具合	コントローラの運転スイッチを一度切り、再度入れた後、操作してください。再度エラー表示する場合は、修理依頼してください。
F2	圧湯電磁弁系統の不具合	
F3	圧力制御弁系統の不具合	
F4	給湯確認スイッチ系統の不具合	
F7	浴そうの排水栓の閉め忘れ	浴そうの排水栓の閉め忘れではありませんか。排水栓を排水口に差し込んでください。それからコントローラの運転スイッチを一度切り、もう一度入れて、自動スイッチを押してください。エラー表示がでなければ大丈夫です。
FA	外気温サーミスタ系統の不具合	コントローラの運転スイッチを一度切り、再度入れた後、操作してください。再度エラー表示する場合は、修理依頼してください。

(風呂コントローラ・メーンコントローラ)



エラー表示部(A0～AA)

エラー表示部
(E1～EA、E0～EA)

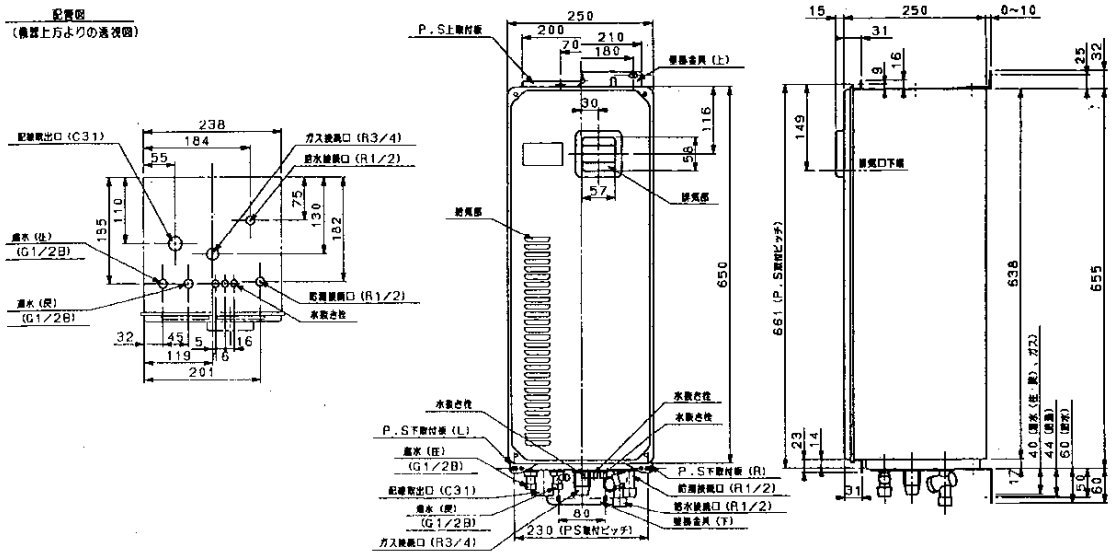


1秒ごと
交互に表示

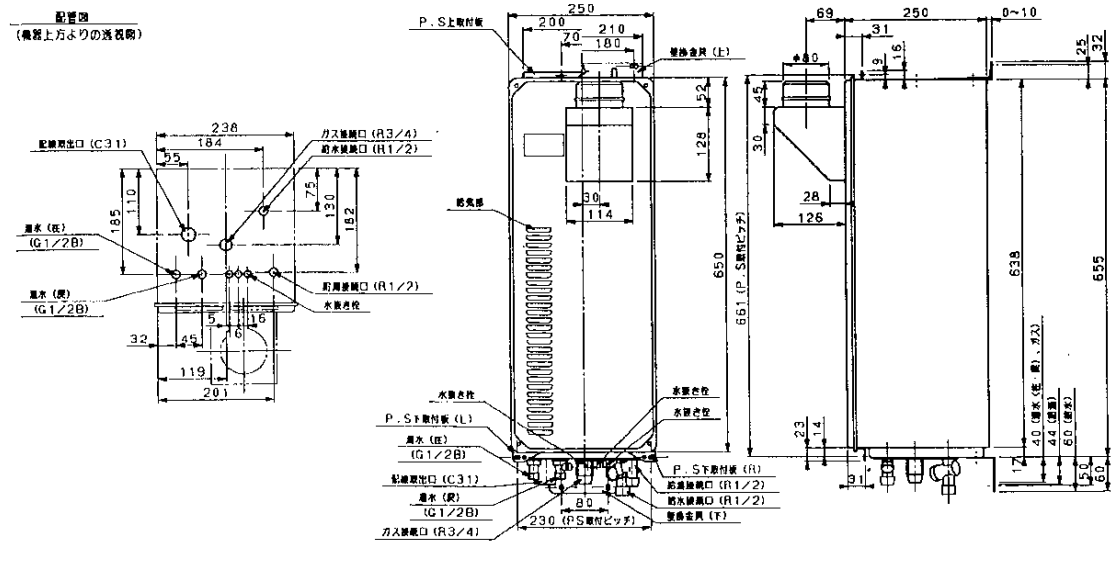
エラー表示番号　番号

寸法図

31-231型



31-232型



仕様

●仕様表

品名		ガス風呂釜	
品番		31-231	31-232
型式名		OURB-161DA	OURB-161DA-CF
日水協型式登録番号		L- 782	
外形寸法		幅250×奥行250×高さ650(mm)	
外装材質		フロントカバー：鋼板塗装仕上げ ケーシング：鋼板塗装仕上げ	
製品重量		30kg	
接続口	ガス	20A(R3/4)	
	※給水	15A(R1/2)	
	※給湯	15A(R1/2)	
	温水(往)	15A(G1/2B)	
	温水(戻)	15A(G1/2B)	
※※ガス消費量	給湯	最大30,000～最小3,700Kcal/h	
	ふろ	10,000Kcal/h	
	同時	35,500Kcal/h	
※※能力		16号～2号(相当)	
制御方式		フィードフォワード、フィードバック制御	
最低作動水圧		0.2kg/cm²	
最低作動水量		2.5ℓ/min	
電気関係	電源	AC100V(50/60Hz)	
	消費電力	210W/235W(50/60Hz)	
	点火方式	連続放電点火方式(ダイレクト点火)	
制御方式	ガス	ガス比例制御方式	
	水	水温検知水量制御方式	
		給湯	ふろ
安全装置	立消え安全装置	フレームロッド	フレームロッド
	流水感知装置	水量センサー	流水スイッチ
	ファン回転検出装置	ホールIC	
	空だき安全装置	温度ヒューズ	温度ヒューズ
	器体過熱防止装置	温度ヒューズ	温度ヒューズ
	過圧防止安全装置	ブローバルブ	ブローバルブ
	沸とう防止装置	サーミスタ	サーミスタ
	凍結予防装置	サーモ付電気ヒーター	サーモ付電気ヒーター+ポンプ循環
	排水装置	手動式水抜き栓	手動式水抜き栓
	漏電安全装置	高感度高速型漏電ブレーカー	
	誘導雷保護装置	半導体	
同梱付属部品		取扱説明書、工事説明書、機器取付部品、メーンコントローラ、風呂コントローラ、風呂アダプター(36-266型)、壁掛設置部品、フレキ管セット	
別売部品		据置台(36-236)、排気ガード(36-237)、リモコンパイプセット(36-238)、異形管継手(95-232)、風呂アダプター(36-266)(36-267)(36-268)	

保管とアフターサービス

●保管(長期間使用しない場合)

●長期間使用しない場合は必ずガス栓・給水栓をしめ、電源プラグをコンセントから抜いてさらに機器の水抜きを行ってください。
●水抜き方法については、P.26「凍結予防のしかた」に従ってください。

●アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

●サービス(点検・修理)を依頼される前に
「故障かな？と思ったら」(P.29・30)の項を見て、もう一度ご確認ください。
それでも不具合がある場合は、ご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店、もしくは大阪ガス支社にご連絡ください。

●ご連絡の際には次のことをお知らせください。
1.品名……ガス風呂釜
2.品番……機器の前板面に貼付してあります。
3.現象……できるだけ詳しく
　　コントローラーのエラー表示番号
4.お客様名、住所、電話番号、道順

〈例〉

(N) 31-231(U)	
大阪ガス株式会社	08

転居されるとき

●ガスの種類の異なる地域へ転居される場合
ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証・補修について

●保証期間中は…
保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。
保証書を紛失されますと、保証期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

●保証期間経過後の故障修理について
お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。この製品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打切後10年間です。

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

南　支　社	〒557 大阪市西成区玉出東2-9-41	☎大　阪 06(652)0001
北　支　社	〒532 大阪市淀川区十三本町3-6-35	☎大　阪 06(301)1251
南部支社	〒590 堺市住吉橋町2-2-19	☎　堺 0722(38)1131
北部支社	〒569 高槻市藤の里町39-6	☎高　槻0726(71)0361
阪神支社	〒663 西宮市和上町4-11	☎西　宮0798(26)3101
東部支社	〒578 東大阪市稲葉2-3-17	☎河　内0729(62)1131
京阪支社	〒573 枚方市西田宮町16-17	☎枚　方0720(41)1251
神戸支社	〒650 神戸市中央区相生町5-13-10	☎神　戸078(576)5231
京都支社	〒640 京都市中京区烏丸御池梅屋町358	☎京　都075(231)8151
奈良支社	〒631 奈良市学園北2-4-1	☎奈　良0742(44)1111
和歌山支社	〒640 和歌山市本町1-5	☎和歌山0734(31)2481
姫路支社	〒670 姫路市神屋町4-8	☎姫　路0792(85)2221
東播支社	〒675 加古川市加古川町粟津29-1	☎加古川0794(21)1801
豊岡支社	〒668 豊岡市三坂町6-57	☎豊　岡07962(3)2221
湖南支社	〒525 草津市追分町字荒堀680-1	☎草　津0775(62)5311
彦根支社	〒522 彦根市大東町12-11	☎彦　根0749(22)3131
長浜営業所	〒526 長浜市南呉服町3-4	☎長　浜0749(62)7171
本社ガスビルサービスセンター	〒541 大阪市中央区平野町4-1-2	☎大　阪 06(202)2221

大阪ガス株式会社

おねがい

ガスくさいときは、ガス元栓を閉め、窓を全開にして（火気に注意して）
大阪ガス支社、サービスショップにご連絡ください。

5100475000